

# 名古屋大学情報基盤センター

共同利用システム速報

No. 142

平成 26 年 7 月 1 日 発行

- |                                       |     |
|---------------------------------------|-----|
| 1. 名古屋大学夏季休暇の一斉取得に伴うセンターへ休館について       | 【1】 |
| 2. 可視化アプリケーション講習会の開催について              | 【1】 |
| 3. 学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点シンポジウムのご案内（再掲） | 【3】 |
| 4. 夏季の節電対策のお知らせ（再掲）                   | 【3】 |

## 1. 名古屋大学夏季休暇の一斉取得に伴うセンターへ休館について

8月14日（木）・15日（金）は、名古屋大学一斉夏期休暇になりますので、情報基盤センターを休館いたします。

（サービス中の各システムは休館中も平常通り運用いたします。）

## 2. 可視化アプリケーション講習会の開催について

スーパーコンピュータで利用できる可視化アプリケーションの講習会を、下記の内容で開催します。

今回講習を行うアプリケーションは、

- ・ AVS : 汎用可視化ソフトウェア、可視化アプリケーション開発ツール
- ・ Ensign : 汎用ポストプロセッサ（商用ソルバー対応）
- ・ IDL : データ解析、汎用可視化ソフトウェア
- ・ ENVI : リモートセンシング用の画像解析ソフトウェア

講習会の特定セッションの受講や可視化相談のみの参加も受け付けます。

なお、可視化相談で、手持ちのデータがある方は当日お持ちください。

場 所： 本センター 1 階端末室

申込締切日： 各講習会開催日の前日までです。

申 込 方 法： 下記の URL から行えます

<http://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/cgi-bin/kousyu/csview2.cgi>

登録番号をお持ちでない場合は「a49999a」とご記入ください。

<各講習会内容と開催日時>

### 1) Ensign 利用講習会

日 時： 2014年7月8日（火）10時～16時

内 容

- ・ Ensigntの初心者向けの講習
- ・ 概要と機能説明（便利な機能）
- ・ 基本操作
- ・ 実習（流体解析結果，構造解析結果の可視化等）

## 2) AVS Express利用講習会（入門編）

日時： 2014年7月15日（火）10時～16時

内容

- ・ AVS Expressの初心者向けの講習
- ・ 概要と機能説明
- ・ 基本操作・プログラミング実習

## 3) AVS Express利用講習会（応用編）

日時： 2014年7月16日（水）10時～16時

内容

- ・ AVS Expressの中級者向けの講習
- ・ 各種可視化手法の紹
- ・ 応用プログラミング実習
- ・ AVS/ExpressPCE（並列版）の基本操作

## 4) IDL 利用講習会（中級編）

日時： 2014年7月30日（水）13時～17時

2014年7月31日（木）10時～17時

内容

- ・ IDLの開発環境 IDLDEの機能説明
- ・ プログラミング（変数，構造，制御ステートメント，データの入出力等）
- ・ ダイレクトグラフィックスの概要
- ・ 信号処理、画像処理、地図データ処理

## 5) ENVI 利用講習会

日時： 2014年8月1日（金）10時～17時

内容

- ・ ENVIの初心者向けの講習
- ・ ENVIの基本操作の説明
- ・ コントラストの変更、画像への重ね書き（Overlay）の説明
- ・ 教師付き分類 - 相関図の使用法、分類法の実行等の説明

- ・ 幾何補正 (GCP) - GCP の取り方、ワープの手法等の説明

<パッケージ一口メモ>

#### 1) AVS/Express

ビジュアル・プログラミングにより、独自のグラフィックスアプリケーションの開発および可視化を行うツールです。流体解析，構造解析，計算化学，医療画像などの幅広い分野で利用されています。大規模データにも対応しています。

可視化結果は、本センター1階端末室に設置してある可視化装置を使って、大画面，高解像度，立体視等を使った様々な可視化を行うことができます。

#### 2) EnSight

EnSight は、CFD、燃焼モデリング、構造分析、衝撃・衝突解析、熱力学、電磁気学などの分野における幅広いCAE シミュレーションから生成されたデータをインタラクティブに可視化するための可視化ツールです。市販の主要なCAE ソルバー (STAR-CCM+, OpenFORM, ANSYS, ABAQUS, CFX, FLUENT, LS-DYNA等) に対応しています。

#### 3) IDL

計測・実験，数値計算，統計解析，シミュレーション，ビジュアライゼーションなどで使用されているソフトウェアです。主に、データ解析，可視化，アプリケーション開発に利用されています。地球科学，宇宙科学の分野でよく利用されています。

#### 4) ENVI

ENVI は衛星画像、航空写真、レーダ、ハイパースペクトルなどのリモートセンシングデータの解析および可視化を行うソフトウェアです。様々な汎用的センサー・データの読み込み、フィルタリング等の画像処理、データ分類、標高データ解析などの機能が利用できます。また、IDL を利用することで、ENVI にユーザー独自のアルゴリズムを追加することが可能です。

### 3. 学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点シンポジウムのご案内 (再掲)

「学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点 第6回シンポジウム」を開催します。  
詳細につきましては下記ホームページを参照ください。

<http://jhpcn-kyoten.itc.u-tokyo.ac.jp/ja/>

開催日時：2014年7月10日(木)10:00~18:30 (懇親会：18:30~)，11日(金)9:30~17:55

開催場所：THE GRAND HALL (品川)

定員：250名

参加費：無料

#### **4. 夏季の節電対策のお知らせ（再掲）**

名古屋大学の夏季節電対策の一環として、7月から9月の間状況に応じてスーパーコンピュータの計算ノードの一部を縮退してサービスを行います。 研究に支障のないよう早めの利用計画を立てるなどご協力をお願いします。